Ⅴ.教育職員免許状の取得について

教育職員となるためには，教育職員免許法（以下「免許法」という。）の定める単位を修得し，希望する教科の免許状を取得しなければなりません。

1．教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則

(1) 教育職員免許法で定める普通免許状を取得するための所要資格

本学部で取得できる免許状の種類及び所要資格は次のとおりです。

（第１表）

<table>
<tr><th colspan="2">第１欄</th><th>第２欄</th><th>第３欄</th></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">所要資格
免許状の種類</td><td rowspan="2">基礎資格</td><td>大学において修得することを必要とする最低単位数</td></tr>
<tr><td>教科及び教職に関する科目</td></tr>
<tr><td>高等学校教諭</td><td>一種免許状</td><td>学士の学位を有すること。</td><td>59</td></tr>
</table>

【備考】

1. 高等学校の教諭の一種免許状の授与を受けようとする者については，これらの単位とあわせて，特に必要なものとして文部科学省で定める科目の単位を大学又は文部科学大臣の指定する教員養成機関において修得していることが必要となります。（教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 参照）
2. 法律上の最低単位数は上記第１表のとおりですが，本学部で修得するべき単位数は下記のとおりとなります。各科目についての説明を熟読し，不足の無いように修得してください。
   - ・教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目　　8 単位
   - ・教科及び教職に関する科目　　59 単位以上

(2) 教育職員免許法施行規則で定める「教科及び教職に関する科目」の要件

（第２表）

	大学において修得することを必要とする最低単位数 高等学校教諭一種免許状
教科及び教科の指導法に関する科目	24
教育の基礎的理解に関する科目	10
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8
教育実践に関する科目	5
大学が独自に設定する科目	12
合計	59

(3) 教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目

教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 により，日本国憲法 2 単位，体育 2 単位，外国語コミュニケーション 2 単位，数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作 2 単位を修得しなければなりません。

(4) 教育職員免許法施行規則第 5 条「教科及び教科の指導法に関する科目」に定める科目

第 3 表の第 1 欄に掲げる免許教科の種類に応じ，第 2 欄に掲げる科目について，それぞれ 1 単位以上，計 20 単位以上を修得しなければなりません。また，第 4 表においてもそれぞれ 2 単位以上，計 4 単位を修得しなければなりません。さらに，総合科学部では，第 2 表の「大学が独自に設定する科目」の設定がないため,「教科及び教科の指導法に関する科目」について, 計 34 単位以上を修得しなければなりません。

（第 3 表）

第 1 欄 免許教科	第 2 欄 教科に関する科目	法定最低修得単位数
地理歴史	日本史	計 20 単位
	外国史	
	人文地理学・自然地理学	
	地誌	
公　　民	「法律学（国際法を含む。)、政治学（国際政治を含む。)」	計 20 単位
	「社会学、経済学（国際経済を含む。)」	
	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	
数　　学	代数学	計 20 単位
	幾何学	
	解析学	
	「確率論、統計学」	
	コンピュータ	
理　　科	物理学	計 20 単位
	化学	
	生物学	
	地学	
	「物理学実験（コンピュータ活用を含む。)、 化学実験（コンピュータ活用を含む。)、 生物学実験（コンピュータ活用を含む。)、 地学実験（コンピュータ活用を含む。)」	
英　　語	英語学	計 20 単位
	英語文学	
	英語コミュニケーション	
	異文化理解	

【備考】

1. 各教科とも一般的包括的な内容を含む科目を含めて修得する必要があります。
2. 「　」内の科目の修得は，そのうち 1 以上の科目を修得する必要があります。

（第 4 表）

第 1 欄	第 2 欄		開設年次	開設学部	必修単位数
免許教科	教科の指導法に関する科目				
地理歴史	○	地理歴史科教育論	2	教育学部	4
	△	社会系（地理歴史）カリキュラムデザイン論	3		
		社会系（地理歴史）教科指導法	2		
公 民	○	公民科教育論	2		4
	△	社会系（公民）カリキュラムデザイン論	3		
		社会系（公民）教科指導法	2		
数 学	○	数学教育学概論Ⅰ	2		4
	○	数学教育学概論Ⅱ	2		
理 科	○	自然システム（理科）教育法Ⅰ	2		4
	○	自然システム（理科）教育法Ⅱ	2		
英 語	○	英語教育学概論Ⅰ	2		4
	○	英語教育学概論Ⅱ	3		

【備考】

○印は必修，△印は 2 科目の中から 1 科目選択必修

2．教職課程関係科目の単位修得方法

（1）教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目

	本学の該当授業科目	要修得単位数	開設年次
日本国憲法	日本国憲法	2	1
体育	健康スポーツ科学，スポーツ実習Ａ，スポーツ実習Ｂ	2	
外国語コミュニケーション	コミュニケーションⅠＡ，コミュニケーションⅠＢ， コミュニケーションⅡＡ，コミュニケーションⅡＢ	2 (2 科目以上選択必修)	
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報・データ科学入門	2	

（2）『教科及び教科の指導法に関する科目』（教科に関する専門的事項）

第１欄 免許教科	第２欄 教科に関する科目	本学の該当授業科目	開　設 学部等	必　修 単位数
地理歴史	日本史	○**日本史Ａ**　○**日本史Ｂ**	教養	4
		日本文化史，日本文化史演習， 医療社会史，医療社会史演習	総	
	外国史	○**ヨーロッパ史研究**，○**東アジア地域史**， ヨーロッパ史研究演習，東アジア地域史演習， 東アジア社会文化史，東アジア社会文化史演習， 英語圏社会研究，英語圏社会研究演習， 欧米大陸間文化研究，欧米大陸間文化研究演習	総	4
	人文地理学・ 自然地理学	○**人文地理学**	教養	4
		○**第四紀環境学**，地域を科学する， 地域調査演習ⅠＡ，地域調査演習ⅠＢ， 地域調査演習ⅡＡ，地域調査演習ⅡＢ	総	
	地誌	○**日本環境地誌**，日本地誌研究演習， ヨーロッパ環境地誌，ヨーロッパ地誌研究演習	総	2
公　　民	「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	○**現代法政策論**，宗教政治社会論，平和学， 環境と平和論	総	2
	「社会学、経済学 （国際経済を含む。）」	△**社会学方法論** △**環境経済論** △**社会生態人類学** （１科目以上選択必修） 親密性の人類学，世界開発論，比較技術史， 開発経済分析論，動態社会学， 福祉社会学，現代産業論，地域環境社会論，調査データで読む現代社会，社会調査データ分析の基礎	総	2
	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	○**現代思想**，聖書学，生命倫理学， 社会心理学，比較哲学演習，比較文明論	総	2
数　　学	代数学	線形代数学Ⅰ，線形代数学Ⅱ	教養	2
		○**数理代数**	総	
		代数学概論	教	
		代数学Ⅰ，代数学Ⅱ	理	
	幾何学	○**数理幾何**，グラフ的幾何学	総	2
	解析学	微分積分学Ⅰ，微分積分学Ⅱ	教養	2
		○**数理解析**，微分方程式，複素解析	総	
		解析学概論	教	
		解析学Ⅲ，解析学Ⅳ	理	
	「確率論、統計学」	○**情報統計学**，確率過程論，データ解析序説	総	2
	コンピュータ	○**コンピュータ基礎論**，情報理論， プログラム技法	総	2

【備考】『教科及び教科の指導法に関する科目（各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）』については第４表参照のこと。

理　　科	物理学	○**物理科学概論**，熱力学Ⅰ，熱力学Ⅱ， 電磁気学Ⅰ，電磁気学Ⅱ，量子力学Ⅰ， 量子力学Ⅱ，統計力学Ⅰ，統計力学Ⅱ， 量子情報論，物性物理学Ⅰ，物性物理学Ⅱ， 複雑液体・ソフトマター論	総	2
	化学	○**一般化学**，有機化学	教養	2
		環境分析化学，生化学概論Ⅰ，生化学概論Ⅱ， 生物機能化学Ⅰ，生物機能化学Ⅱ，環境物理化学	総	
		天然物有機化学	生	
	生物学	○**細胞科学**，種生物学	教養	2
		基礎細胞生物学，細胞生物学，脳科学， 神経生理学，細胞遺伝学，分子発生生物学， 環境微生物学，根圏の科学，環境とエコロジー	総	
		Global Environmental Issues from Scientific and Social PerspectivesⅠ（科学と社会からみた地球環境問題Ⅰ），Global Environmental Issues from Scientific and Social PerspectivesⅡ（科学と社会からみた地球環境問題Ⅱ）	総	
	地学	○**環境地質学**，環境鉱物学，砂防学，大気科学	総	2
	「物理学実験(ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ活用を含む。)， 化学実験(ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ活用を含む。)， 生物学実験(ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ活用を含む。)， 地学実験(ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ活用を含む。)」	△**物理学基礎実験** △**化学基礎実験** △**生物学基礎実験** △**地学基礎実験** （１科目以上選択必修）	総	1
英　　語	英語学	△**英語発音法演習** △**現代英語語法演習** △**応用言語学入門** （２科目以上選択必修） 統語論，言語学入門，語用論，音声学・音韻論，意味の世界Ⅰ，意味の世界Ⅱ， Language and Thought Ⅰ（言語と思考Ⅰ）， Language and Thought Ⅱ（言語と思考Ⅱ）， Foreign Language Acquisition and Communication Ⅰ(外国語習得とコミュニケーションⅠ)， Foreign Language Acquisition and Communication Ⅱ(外国語習得とコミュニケーションⅡ)	総	4
	英語文学	○**英米文学研究**，○**英米文学演習**，都市文化論	総	4
	英語コミュニケーション	○**英語会話演習**，○**英語上級聴取法演習**， ○**英語上級文章法演習**，英語ディベート演習	総	6
	異文化理解	○**文化論研究**，イギリス社会研究，アメリカ社会研究， アメリカ社会研究演習	総	2

【備考】○印は教育職員免許状を取得するための必修科目を示し，△印は教育職員免許状を取得するための選択必修科目を示します。

【開設学部等欄に記載の略称】

教養：教養教育，総：総合科学部，教：教育学部，理：理学部，生：生物生産学部

(3)『教育の基礎的理解に関する科目』,『道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目』及び『教育実践に関する科目』

<table>
<tr><th colspan="3">科　目　の　区　分</th><th>授　業　科　目</th><th>必修単位数</th><th>最低修得単位数</th></tr>
<tr><td rowspan="14">教科及び教職に関する科目</td><td rowspan="6">教育の基礎的理解に関する科目</td><td>教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想</td><td>教育の思想と原理</td><td>2</td><td rowspan="6">11</td></tr>
<tr><td>教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）</td><td>教職入門</td><td>2</td></tr>
<tr><td>教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）</td><td>教育と社会・制度</td><td>2</td></tr>
<tr><td>幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程</td><td>児童・青年期発達論</td><td>2</td></tr>
<tr><td>特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解</td><td>特別支援教育</td><td>1</td></tr>
<tr><td>教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）</td><td>教育課程論</td><td>2</td></tr>
<tr><td rowspan="5">道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目</td><td>総合的な探究の時間の指導法</td><td>総合的な学習の時間の指導法</td><td>1</td><td rowspan="5">9</td></tr>
<tr><td>特別活動の指導法</td><td>特別活動指導法</td><td>2</td></tr>
<tr><td>・教育の方法及び技術
・情報通信技術を活用した教育の理論及び方法</td><td>教育方法･技術論及び情報活用教育論</td><td>2</td></tr>
<tr><td>・生徒指導の理論及び方法
・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法</td><td>生徒・進路指導論</td><td>2</td></tr>
<tr><td>教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法</td><td>教育相談</td><td>2</td></tr>
<tr><td rowspan="3">教育実践に関する科目</td><td rowspan="2">教育実習</td><td>教育実習指導C</td><td>1</td><td>1</td></tr>
<tr><td>中・高等学校教育実習Ⅱ</td><td>2</td><td>2</td></tr>
<tr><td>教職実践演習</td><td>教職実践演習（中・高）</td><td>2</td><td>2</td></tr>
</table>

３．教育実習受講資格

中・高等学校教育実習Ⅱを受講することのできる者は，3年生後期終了時点で，次の単位を修得した者となります。

(1)【教科及び教科の指導法に関する科目】

「教科に関する専門的事項」　10単位
「各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」　4単位
合計14単位以上

(2)【教育の基礎的理解に関する科目】及び【道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目】

教育の思想と原理，教職入門，教育と社会・制度，児童・青年期発達論，特別支援教育，教育課程論，総合的な学習の時間の指導法，特別活動指導法，教育方法・技術論及び情報活用教育論，生徒・進路指導論のうち

14単位以上

(3) 教育実習指導C　　１単位

【備考】

1. 教育実習指導Cを受講するための条件は，特に設けません。
2. 教育実習指導Cの受講にあたっては，出席，遅刻，学習態度，レポート提出などが厳格に評価される点に十分留意しておく必要があります。
3. 高等学校教論の免許状を取得しようとする者は，教育実習指導Cの1単位と中・高等学校教育実習Ⅱの2単位を修得しなければなりません。
4. 教職実践演習（中・高）を履修するためには，原則として4年次前期終了時点で主たる免許の教育実習（本実習）の単位を修得しなければなりません。

≪総合科学部における教育実習指導について≫

本学部では教育実習を希望する学生に対し，学部内で受講者の審査を行うこととしています。

詳細については，2 年次の始めに開催する教職ガイダンスにおいて説明しますので，教育実習を希望する者は必ず教職ガイダンスに参加してください。

４．免許状申請の手続

卒業予定者で免許状の授与を申請する者は，次に掲げる書類等を総合科学系支援室（学士課程担当）を経由して広島県教育委員会に提出しなければなりません。

（1）教育職員免許状授与申請書・宣誓書・履歴書　｝所定の用紙
（2）学力に関する証明書（支援室で作成）　｝所定の用紙
（3）手数料（個人納付）　3,400 円（免許状 1 件につき）（令和 5 年 3 月現在）

【備考】

1. 上記書類のうち（1）を 10 月下旬までに総合科学系支援室（学士課程担当）へ提出のこと（1 次提出）。
2. （2）については，2 次提出（３月上旬）の際，総合科学系支援室（学士課程担当）から教育委員会に提出します。
3. 申請免許状 1 件ごとに諸書類は 1 通ずつ必要です。
4. 通知，連絡等は，すべて「Ｍｙもみじ」の掲示板で行うので注意しておいてください。

教職実践演習及び教員免許ポートフォリオについて

＜教職実践演習について＞

「教育職員免許法施行規則」の一部改正により，平成 22 年度入学生から「教職実践演習」（4 年生後期の授業）が新設されました。この授業は，教員免許状を取得するにあたり必要な知識技能などを習得していることを確認する授業です。それには，そうした知識技能などの習得状況を示すための証拠や振り返るための資料を残しておく必要があり，文部科学省は，“履修カルテ”を作成することを求めています。この“履修カルテ”に対応するものを，広島大学では『教員免許ポートフォリオ』と呼んでいます。

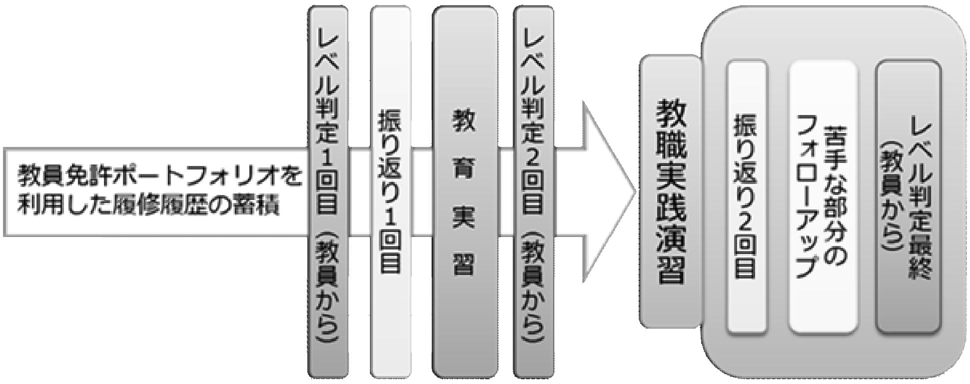
＜教員免許ポートフォリオについて＞

教員免許ポートフォリオには，教員免許状を取得する者として必要な知識技能などを習得していることを示す証拠や資料を，広島大学教員養成スタンダードの各規準に対応させて蓄積します。蓄積した証拠や資料は振り返りや教職実践演習の際に活用するほか，適切な時期に教員によって各規準の評価材として利用され，到達レベルが判定されます。

＜教職実践演習までの流れ＞

教職実践演習は，教員免許状を取得する際の必修科目です。教職実践演習を履修する場合，教員免許状の取得を希望する校種・教科のうち，主免許状として教育実習を受講する校種・教科に応じて，指定された証拠・資料を教員免許ポートフォリオに蓄積していく必要があります。校種・教科によっては１セメスターから蓄積しなければならない証拠・資料もあります。教員免許状の取得を希望する人は，授業内での指示や「My もみじ」等の連絡を見落とさないよう注意し，いつ，何をする必要があるのかを把握するよう努めてください。分からないことがあれば，チューター，または下記の問い合わせ先まで連絡してください。

【例】教職実践演習（中・高）を履修するまでの流れ図



問い合わせ先

問い合わせ内容	担当窓口	電話番号	E-mail アドレス
教職実践演習に関すること	教育学系総括支援室（学士課程担当）	082-424-6725	kyoiku-gakusi@office.hiroshima-u.ac.jp
教員免許ポートフォリオに関すること	教育推進グループ（教員免許ポートフォリオ担当）	082-424-4683	e-port@office.hiroshima-u.ac.jp